



# 進路だより

札幌市立宮の森中学校

令和7（2025）年度

第30号

11月5日（水）

進路係発行

保護者のみなさん、生徒のみなさん、共に読んでください

## 学校説明会等のお知らせ

### 北海道札幌北高等学校定時制課程（公立）

学校説明会：11月21日（金）17:35～19:15（受付17:00～）

内容：全体説明、授業参観、個別説明など

**申込方法：**11月5日（水）15:00～11月18日（火）17:00の期間に、HPから各自で申し込んでください。生徒のみの参加は認められていませんので、必ず保護者の方も一緒に参加してください。

・クラーク記念国際高等学校（私立・通信制）の学校説明会案内チラシを全員に配布しました。

・文化祭が終わり、いよいよ入試に向けて本腰を入れる時期になりました。昨日は進路写真撮影、今日は進路説明会、そして明日6日（木）は学力テスト総合Cがあります。合わせて、最終の第4回進路希望調査も実施します。11月中旬から下旬には教育相談、そして12月中旬の期末懇談で志望校決定となります。しっかりと意識を高めていきましょう。

・今日から11月21日までの期間に、道立高校のWEB申請のシミュレーションが実施されます。北海道教育委員会のHPから行うことができます。進路説明会でも説明したいと思いますのでよろしくお願いします。

## 「努力の壺（つぼ）」という話 （どこかで聞きたい話）

「お母さん、努力の壺の話、またして」「うん、いいよ。今度はなあに」「さかあがり」「あらまだいっぱいになっていなかったのね。ずいぶん大きいねえ」

といいながら、お母さんはいすを引いて、私の前に座りました。そして、もう何回もしてくれた、努力の壺の話を、またゆっくりと始めました。それはこんな話です。

『人が何かを始めようと、今までできなかったことをやろうと思ったとき、神様から努力の壺をもらいます。その壺はいろんな大きさがあり、人によって、時には大きいやら小さいのやらいろいろあります。そしてその壺は、その人の目には見えないのです。でも、その人が壺の中に一生懸命【努力】を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか【努力】が溢れるとき、壺の大きさが分かる、というのです。だから、休まずに壺の中に【努力】を入れていけば、いつか必ずできる時が来るのです。』

私はこの話が大好きです。幼稚園の時初めてお母さんから聞きました。その時は、よこばしご（うんてい）の練習をしている時でした。それから、一輪車や鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でもがんばってやっている時、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。くじけそうになった時でも、この話を聞いていると、心の中に大きな壺が見えてくる気がします。そして、私の【努力】がもう少しで溢れるように見えるのです。だから、またがんばる気持ちになれます。

お母さんの言うとおり、今度の逆上がりの壺は、ずいぶん大きいみたいです。逆上がりを始めてから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも、今度こそあと少しで溢れそうな気がします。だから、明日からまたがんばろうと思います。

お母さんは、「壺が大きいととても大変だけど、中身がいっぱいあるからあなたのためになるのよ」と言ってくれるけど、今度は神様にもらうときは、もう少し小さな壺がいいなあと思います。

「タイパが大事」などと言われるご時世ですが、何かを身につけるには必ず努力が必要であり、その努力には時間がかかるものです。その場しのぎの学力ではなく、ずっと先まで活かせるような本物の学力を身につけてほしいと願います。